

手前の水路に小舟が浮かんでいます。田んぼには稲わらが積み上げられており、京阪電車の沿線から東を望んだ晩秋の田園風景です。周囲より低地だったこの一帯は当時、「木田千万石沼」と呼ばれ、水路が巡っていました。田んぼや畑に行ったり、収穫した米や野菜を運んだりする農作業に舟は欠かせなかったそうです。



むかし

昭和34年秋

ねやがわ

いまむかし

写真館

61年後



いま

令和2年11月

木田町の西川勉さん提供の写真を使用しました。30年以上前の市内の光景写真を貸していただける人は企画三課まで連絡してください。

線路の高架下から撮影しました。友呂岐水路から寝屋川の下をくぐってひかれていた水路は埋め立てられて市道になり、ススキがなびく田んぼは住宅地に変わりました(撮影地…木田町)。